

ASAHI RUBBER REPORT 2011

朝日ラバー株主通信2011 平成22年4月1日▶平成23年3月31日

第10次三カ年中期経営計画をスタート お客様のご要望に全力で応えてまいります

株主の皆様へ

To Our Shareholders



代表取締役社長 横山林吉

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、このたびの東北地方太平洋沖を震源とした地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

当社は福島県南部に工場がございますが、高機能ゴム製品を生産している福島工場において、建物の一部に被害がございました。幸い従業員は怪我一つなく、生産設備も問題なかったことから、速やかな復旧活動やお客様のご要望を反映した納品対応を実施することができました。

このたびの震災により、自動車業界を始めとした様々なサプライチェーンが寸断されており、震災前の状況に戻るまでには年内いっぱいかかる見通しとも言われています。当社といたしましては、お客様第一を経営理念として、従来どおりの供給体制を維持しながら、お客様のご要望にお応えしていくために全力を尽くしてまいります。

また、福島県は原子力発電所問題が依

然として予断を許さない状況のまま継続しておりますが、当社の国内の生産拠点は福島県の3工場のみであり、引き続き、この地での事業活動を継続してまいります。製品供給による社会貢献だけでなく、雇用の維持や地域の復興にも微力ながら尽力してまいりたいと考えております。

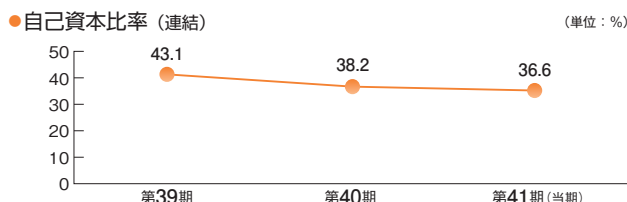
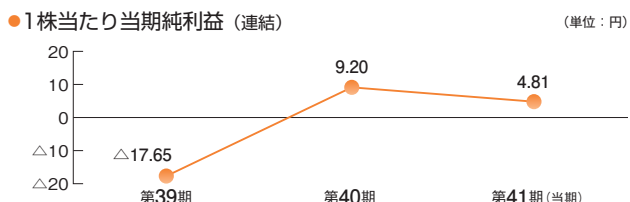
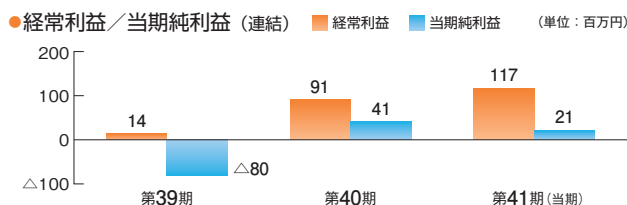
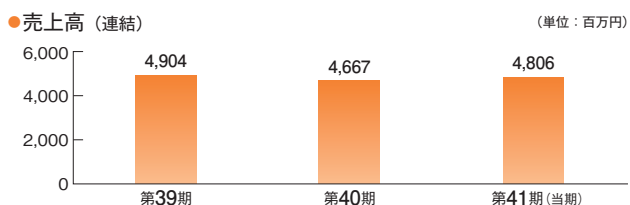
さて、このたび当社では、第10次三カ年中期経営計画を策定し、今年4月からスタートさせました。当社の存在価値である新製品・開発製品の市場供給を進めていくために、保有技術の整理と市場ニーズを捉えた新しい付加価値の提案で、継続した成長を図ってまいります。

このたびの震災で、初年度である今期の見通しが、計画策定時より不透明なところがございますが、経済の復興の足音とともに、当社も着実に発展してまいりたいと考えておりますので、株主の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

Financial Highlights

- 医療用ゴム製品の受注増と生産効率化で増収増益
- 東北地方太平洋沖地震による被害額を特別損失に計上し当期純利益は減益



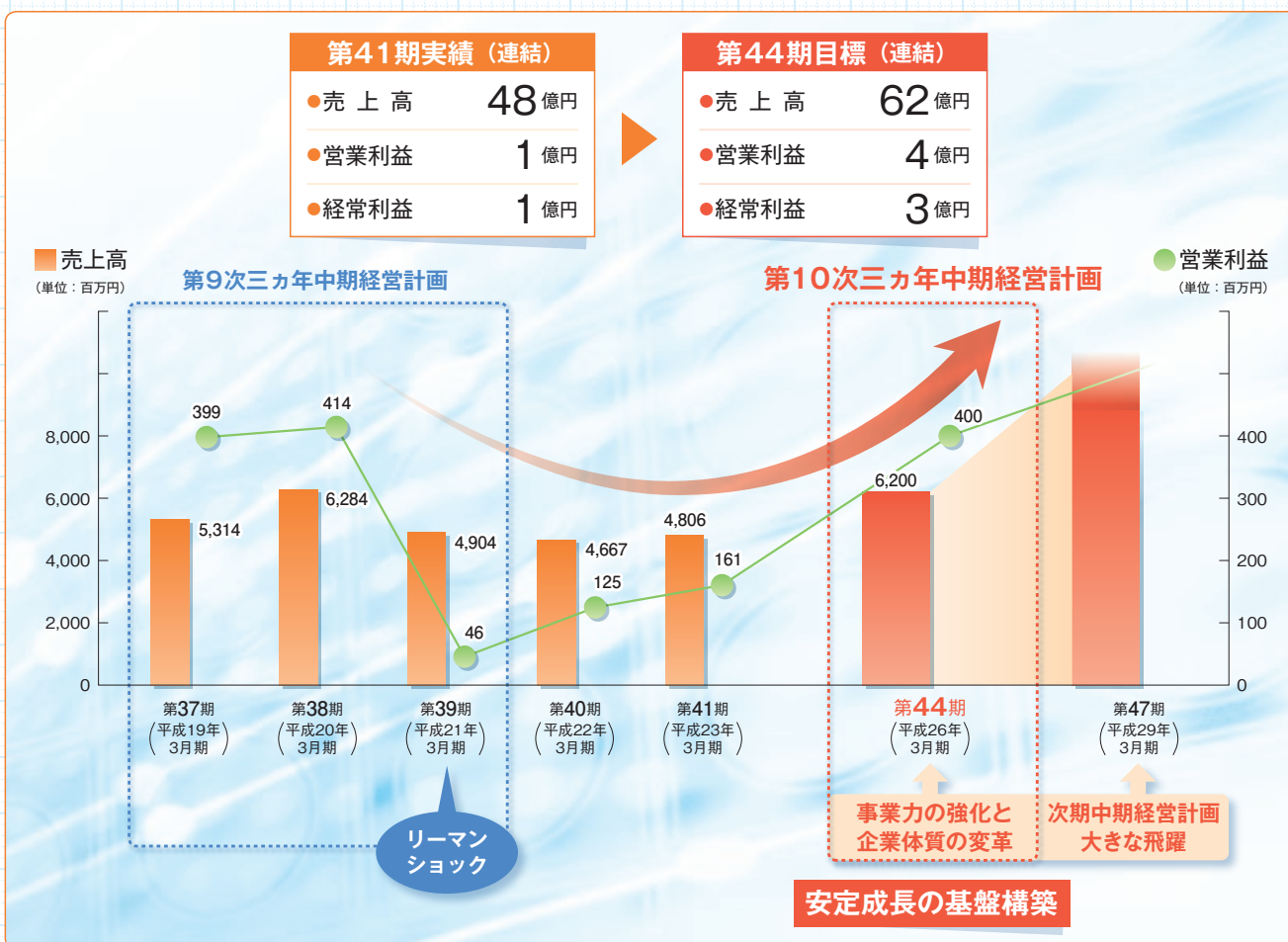
第10次三カ年中期経営計画スタート

— “新しい価値”を提供する真の中堅企業へ —

当社グループは、第42期（平成24年3月期）を初年度とする第10次三カ年中期経営計画をスタートさせました。当社グループに関わるあらゆる人々との深い信頼の絆で結ばれた、新しい価値を提供する信頼できる真の中堅企業を目指し、お客様の価値の創造と夢や感動のある企業へ邁進してまいります。

1 第10次三カ年中期経営計画の位置付け

事業力の強化と企業体質の変革により、安定成長の基盤構築を行い、次期中期経営計画における大きな飛躍につなげる。



これまでの当社の実績を総括すると、価格下落とお客様の求める付加価値の変化に対応できず、安定成長の基盤が構築できていませんでした。また、新製品や新事業の開拓は途上であり、事業力の強化と企業体質の変革が急務であると認識しています。

このたび策定した第10次三カ年中期経営計画の位置付けは、平成21年にリーマンショックで大きく落ち込んだ業績を元

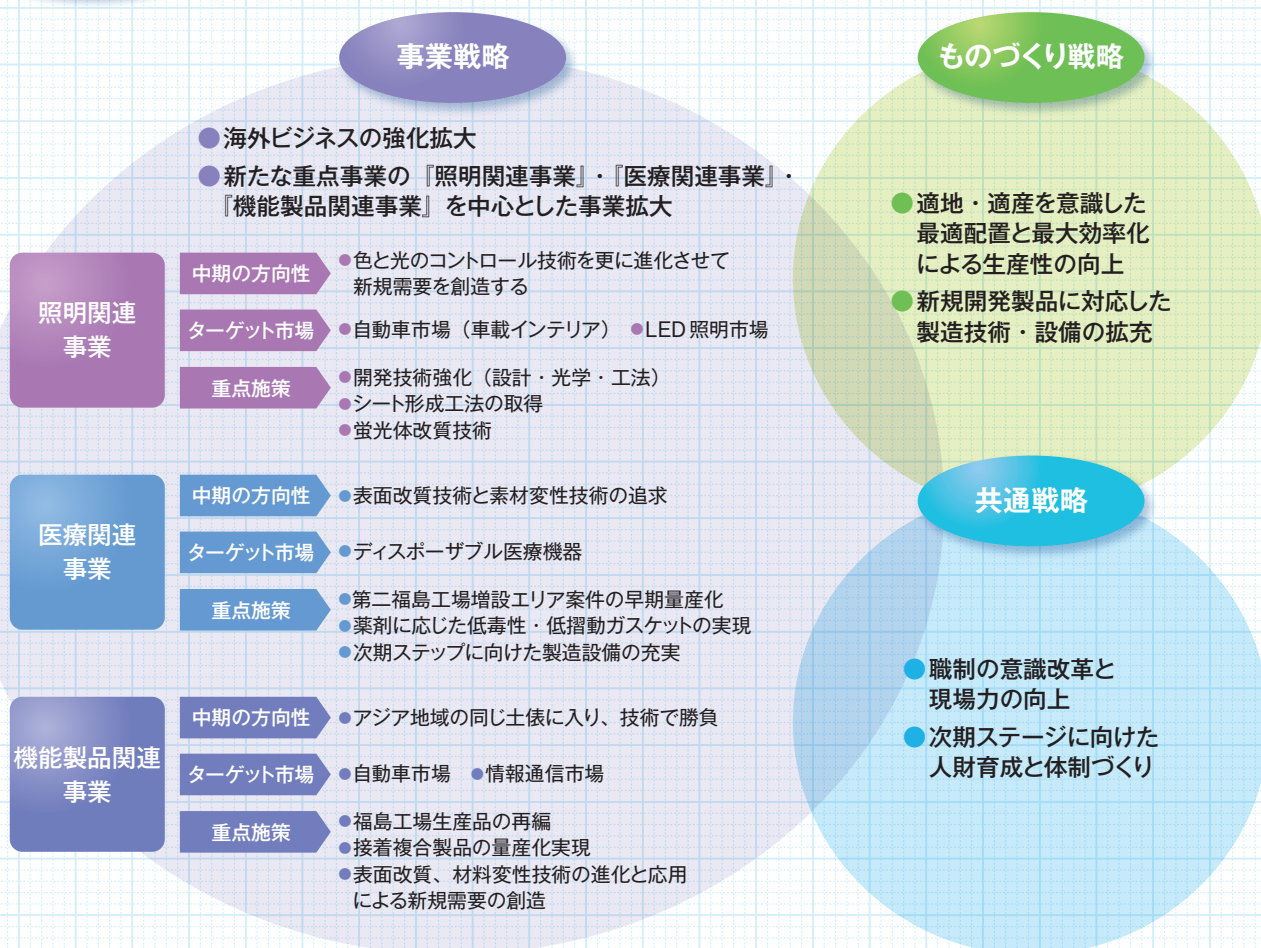
に戻し、更なる成長につなげていくことにあります。新製品・開発製品を市場に供給し続けることが当社の存在意義であり、安定成長のためにお客様の求める価値以上の技術力と製品企画力を磨いてまいります。

初年度の平成24年3月期は、震災の影響を受けての厳しいスタートとなりますが、三年後の目標達成に向けて全力で取り組んでまいります。

2 具体的な戦略

基本戦略

事業・企業体質・人財のバランスの取れた成長



東北地方太平洋沖地震における影響と当社の取り組みについて

当社は福島県南部の白河市と西白河郡に工場が3ヶ所ありますが、このたびの地震で高機能ゴム製品を生産している西白河郡の福島工場において、建物の壁の一部が崩落し、窓ガラスが割れるなどの被害がありました。従業員は就業中でありながらも怪我一つなく避難することができました。翌日から飛散した瓦礫の除去や生産設備の確認を始め、地元の建築業者様に建物の安全を確認していただき、補修工事にとりかかることができたことから、3月16日から生産活動を再開し、雪がちらつき余震も続く中、温かい味噌汁の炊き出しを行うなど、従業員全員が復旧に向けて取り組みました。

お客様から要望された製品在庫の納品については、ガソリンが不足し物流網が寸断されている中、本社からトラックによる

ピストン輸送を実施し、お客様のご要望を反映した納品対応を実施することができました。

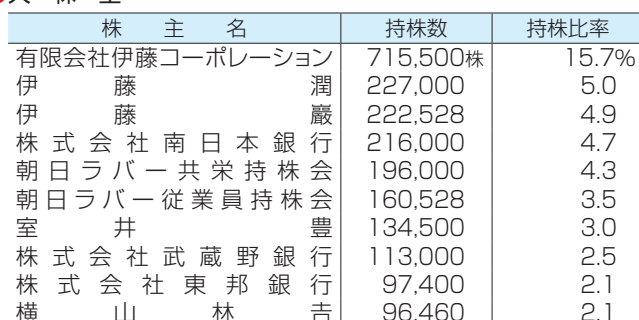
福島工場は3月28日に全ての製品の生産を再開し、水と灯油が不足していた第二福島工場も3月29日には全ての製品の生産を再開することができました。

こうした中、地域または被災された方たちへの支援として、従業員が義援金を募り、日本赤十字への寄付も実施しています。

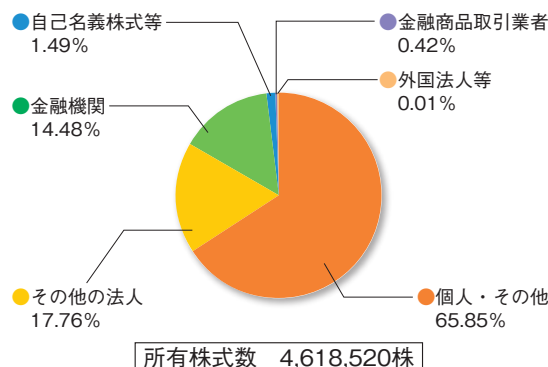


郡山の弁当業者から食事を調達し、味噌汁の炊き出しを行いました。

●所有者別株式の分布状況



(注) 持株比率は自己株式(68,604株)を控除して計算しております。



●商号	株式会社朝日ラバー（ASAHI RUBBER INC.） 株式会社朝日ラバー 株式会社朝日ラバー（ASAHI RUBBER INC.） http://www.asahi-rubber.co.jp
●所在地	埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
●設立	昭和51年6月（創業 昭和45年5月）
●資本金	5億1,687万円
●証券コード	5162
●正社員数	230名
●主な業務内容	工業用ゴム製品の製造・販売
●主な事業所	埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2 大阪営業所 大阪府大阪市城東区蒲生一丁目12番10号 京橋アドバンス21 205号 福島工場 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字坊頭窪1番地 第二福島工場 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字山崎山1番地3 白河工場 福島県白河市萱根月ノ入1番地21 上海駐在事務所 中国上海市長寧区延安西路1088号長峰中心516室
●関係会社	ARI INTERNATIONAL CORPORATION 株式会社ファインラバー研究所 朝日橡膠（香港）有限公司 東莞朝日精密橡膠制品有限公司

●役員 取締役会長 伊藤 巖
(平成23年6月24日現在)

代表取締役社長	横	山	林	吉
代表取締役副社長	伊	藤		潤
常務取締役	中	沢	章	二
取締役	亀	本	順	志
取締役	渡	辺	陽	一郎
常勤監査役	塙		雅	夫
監査役	柳	沼		晃
監査役	鈴	木		敦

●株主メー

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	大阪証券取引所（JASDAQ市場）
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.asahi-rubber.co.jp （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

もっと 朝日ラバーを知る



HPをリニューアルしました。
積極的な情報開示に努めてまいりますので、
是非ご覧ください。

<http://www.asahi-rubber.co.jp>



<http://m-ir.jp/c/5162>

